

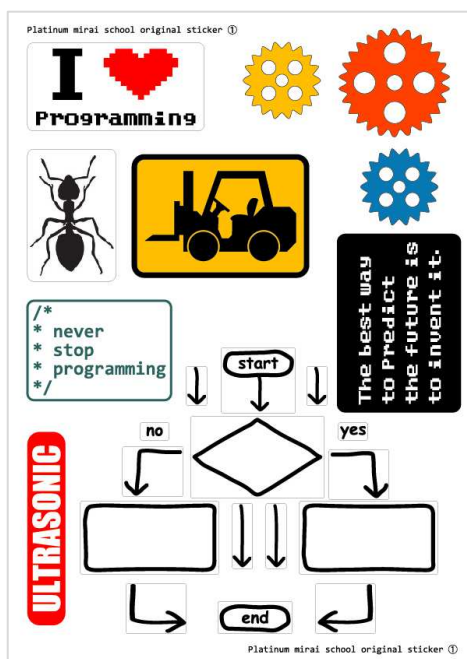
このレポートは、プログラム終了ごとに、各教室の様子を保護者の皆様にお届けするものです。ご一読いただくと幸いです。

テキストが新しくなりました！

『プラチナ未来スクール ロボット教室』のオリジナルテキスト
(vol.1～6) が完成！



- ・ 1巻ごとに1台のロボットを作り上げます。
- ・ 完成したロボットを、みんなが考えたプログラムで動かそう！

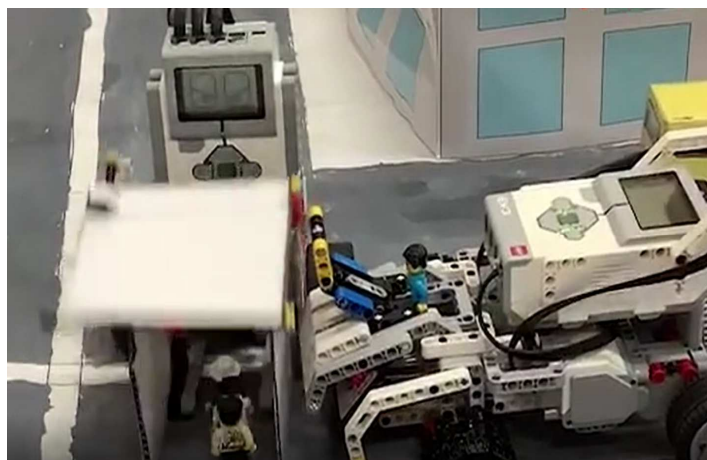


※参考イメージです

WROエントリー体験談！（長崎大学教室・柏教室）



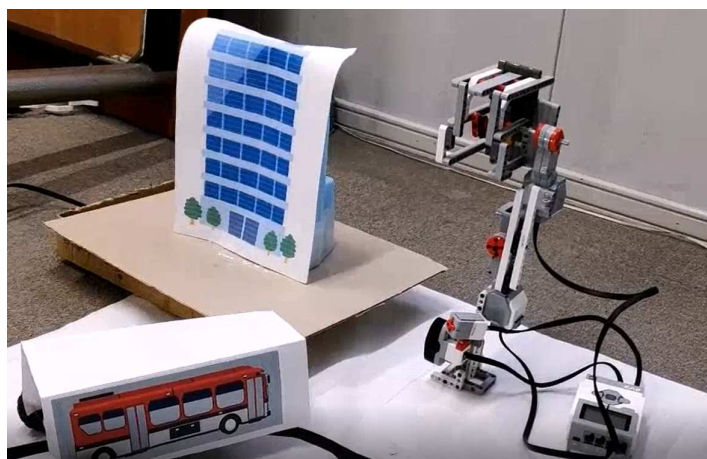
2019年度テーマは「スマートシティで活躍するロボット」



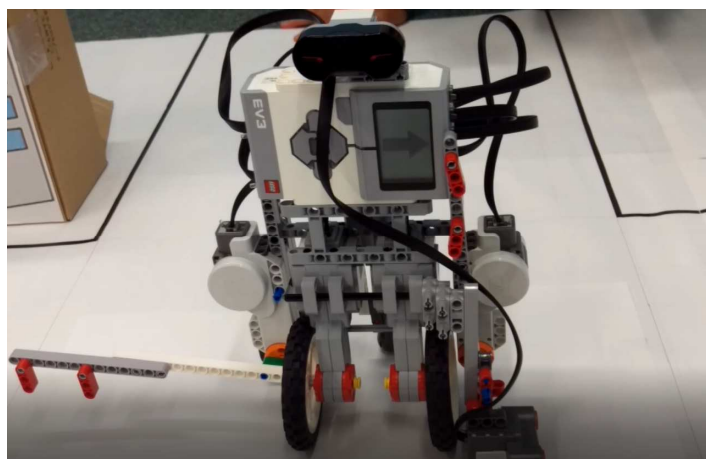
長崎大学教室の生徒たちは、けが人を運ぶ「救急車ロボット」と暴走車を止め救急車ロボットを誘導する「交通整理ロボット」、歩行者に危害を加える暴走車を事前に察知して、歩行者に覆いかぶさり守る「ガードロボット」を考えました！

← 長崎大学教室の“歩行者ガードロボット”

柏教室では2チームがエントリーしました。ひとつのチームは移動可能なAI搭載の信号機で、渋滞が起きないように最適な交通整理をします。事故発生時にはすばやく移動し、歩行者を守りながら、交通整理するロボットです。もうひとつのチームはシニア用のボタン式と一般用のスマートフォン式を兼ね備えた「スマート信号機」とそれに連動した「自動走行バス」を考えました。災害時にも人々を安全な場所に送り届けられるシステムです。



↑ 柏教室の“自動走行バス”&“スマート信号機”



↑ 柏教室の“移動式AI搭載信号機”

“0(ゼロ)”から考える課題にチャレンジ！

WROの挑戦は、初めての試みで試行錯誤する場面もありましたが、保護者の皆様や大学関係者の多くのサポートのもと無事にエントリーすることができました。結果、予選通過はかありませんでしたが、子供達はものすごく成長できたと思います。

昨年度までは与えられたテーマの中でテキストに従ってプログラムなどを教えてきましたが、WROにはそれがありません。私は、コーチとして生徒達をどのように引っ張っていけばいいのか、どのように生徒達の出したアイデアをまとめていけばいいのかと多くの迷いがあり、それらの点が非常に難しく感じました。しかし、生徒達はその中でも積極的に意見交換やロボットのアイデアの提案をする様子が多く見られコーチとしてうれしく感じました。

(長崎大学教室 3年目クラス 古賀 太基 コーチ)



フィールドから制作する生徒たち

横浜国立大学 ロボコン入賞（横浜国立大学教室）

横浜国立大学Robo+ismはNHK学生ロボコンに出場するために活動しており、NHK学生ロボコン2019ではベスト8になりました。

NHK学生ロボコンでは日本全国の大学から複数の審査を通過して選ばれたおよそ20チームがアイデアとチームワークを駆使して本戦で競います。

本大会で一番苦労したところは、時間内に障害物をクリアするという目的を達成するための機構、それに合った制御を行う事でした。

ロボット教室で生徒の皆さんが試行錯誤を重ねてより性能の良いものを作成することは、ロボット作成の楽しみや技術などを経験する良い機会になると思います。

（横浜国立大学教室 奥村 皐月 マネージャー）



武蔵野大学高等学校でロボット教室開催

東京都西東京市にある武蔵野大学高等学校にて、今年度からいくつかの企業とタイアップした特別授業「LAM = Liberal Arts Musashino」がスタートし、プラチナ未来スクール ロボット教室もロボット工学の講義としてアクティブラーニングを実施いたしました。

高校生たちは、スゴろくロボットでセンサーの働きや基本的なプログラミングを学び、トレースレーサーで数学ブロックの活用を知り、レスキューロボットでは自由な発想を広げてロボット制作の楽しさを体感していました。

初対面の生徒同士も、ロボット制作を通じて協働の大切さを実感し、コミュニケーションをとりながら競技会に挑戦していました。



東芝様より取手教室と柏教室で特別講演をいただきました

12月10日（火）取手教室、12月11日（水）柏教室で、プラチナ構想ネットワークの法人会員でもある、株式会社東芝様より、講師を派遣いただき特別講義をしていただきました。

講師の先生は、株式会社東芝 研究開発センターの中本秀一主務。

講義のテーマは「ロボットの開発の今までとこれから」。

プラチナ未来スクール ロボット教室の生徒、大学生、シニア、保護者等に、日本のロボットの始まりや東芝のからくり人形、ホームロボットや生活支援ロボット、AIを搭載した智能化ロボットの研究や物流ロボットなどについて、動画を交えて、わかりやすくお話いただきました。



株式会社東芝 中本秀一様



取手教室



柏教室

コーチングスタッフだより／取手教室

東京理科大学 理工学部 機械工学科／取手教室

桐山 皓太 マネージャー（写真中央）

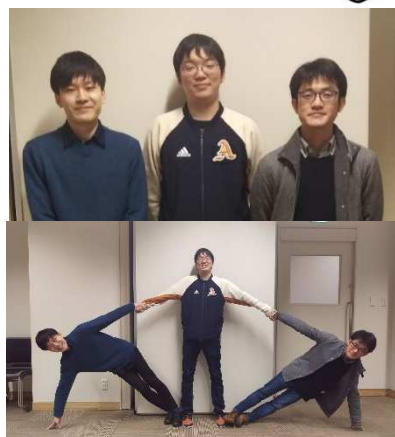
普通の授業は先生たちの「楽しい」と、子ども達の「楽しい」をうまく共有したいと思ってやっています。その雰囲気もあってか先生も子どもたちも何かこうしてみたいということ話し合える環境を提供できていますし、これからも興味が湧いてくるような授業をして行けたら幸いです。

花房 祐典 コーチ（写真左）

アクティブラーニングを重要視するこの教室では子どもたちの発想力や想像力、コミュニケーション能力などを開花できるよう指導を心がけています。勉強がニガテな子どもでも学ぶ楽しさを感じてもらえるように手厚くサポートしていきたいと思えます。

高木 七碧 コーチ（写真右）

生徒のステップアップを一番に考え、楽しく学習できることを心がけていきました。アドバイスした生徒はみんな顔を輝かせ、「なるほど！」と満面の笑みをこちらに向けます。その瞬間に我々が一番のやりがいを感じます。子どもたちに毎回の習った知識を印象付けるつもりでこれからも頑張っていきます。



☑主催
プラチナ構想ネットワーク

☑共催
取手市教育委員会

☑主催協力
長崎大学 地方創生推進本部

☑後援法人会員
三菱重工業株式会社

☑後援自治体会員
長崎市／横浜市／取手市

☑協力
長崎大学 ロボットサークル
横浜国立大学 校友会・Robo+ism
三菱みなとみらい技術館
東京理科大学Robot CreatorS
ネクスファ

アクティビティレポートいかがでしたでしょうか。
プラチナ未来スクールに関するご意見・ご質問は、下記事務局までお寄せください。

◆ロボット教室のお問合せ先
プラチナ未来スクール事務局
メール: pt-mirai-robot@platinum-network.jp
電話03-6858-3546 ※平日9時～17時

詳しくはホームページ(左)をご覧ください。
Facebookページ(右)もごさいます。

<http://platinum-miraischool.jp/>

